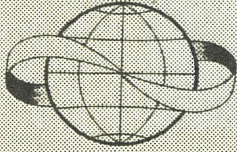


# ヴァーナス通信

Venous (静脈) Venus (護美の女神)



第36号

発行 東多摩再資源化事業協同組合

理事長 紺野武郎 編集長 吉浦高志

東京都東村山市久米川町1-16-18

Tel&Fax 042-395-9788

## 3R推進運動は広がるが

前号で実施した「こんなものいらないランキング調査」は、色々な発見と課題を与えてくれた。

先ずこの調査票を渡して回答を依頼すると、意外にも考え込んでしまい、即答できない人が多かった。何不自由ない物質文明の中に慣れきっている今、この調査はなじまないのかもしれない。いらないものは自然に消滅するとも言われた。3Rの一番手の発生抑制策(リデュース)は、必要ないものは作らない使わない運動を起こすことで、そこを考える調査として遊び心で始めてみたが、なかなかハードルも高いようだ。

しかし我が「3Rを正しく進める調査隊」は、一年間めげずに調査を続けて「国民共通の不必要品」を世に訴えたいと思う。

なお今回発表している中間の調査結果は、小紙の購読を頂いている皆様からの回答が中心になったものと推測され、かなり環境問題に関心のある高度な回答が多く寄せられているようにも思う。国の各省庁や地方自治体においても、産業界それに市民団体などを加えて3R推進の協議会やフォーラムを立ち上げ、各地で実践報告

やシンポジウムなどの啓蒙活動を進めている。

改正容器包装リサイクル法で拡大生産者責任が骨抜きになったとの批判をかわすためか産業界に対しては、3Rの具体的な目標値の設定と公表を求めているが、わずか1-2%の削減目標値しか掲げられない業界が殆どだと言う。

レジ袋を無くすマイバック運動も盛んで、環境省は、あのチャンピオン(?)亀田興毅を使って「ストップや!レジ袋」と刷った。他にも各地で大量のポスターやチラシさらにはバックそのものを配布するなどの運動をしているが、その効果は低いと聞く。企業も行政もただアリバイ作りのイベントをしているようにさえ見える。

本調査の途中経過でも、レジ袋がいらぬもの、トップになり第二位がトレー、第四位までがコンビニやスーパーで売られる食品の容器包装類か備品だった。

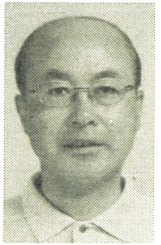
全国のコンビニやスーパーはじめてすべての小売店業界が、勇断を持って週二〜三回、レジ袋を使わない日を定めて消費者の実体験を積み重ねてゆくくらいの強行策が必要かと思う。レジ袋の有料化だけでは、根本的な解決策には程遠い。いらぬ物第五位にランクした

自動販売機は、飲料物関係だけでも全国に推計二百七十万台あり、原子力発電所一機分以上の電力を消費していると言う。そこから発生する飲料容器のおびただしい廃棄を考えると、発生抑制効果はレジ袋の比ではない。少なくとも公共施設からの廃止はしてほしい。

紙製容器類も、環境に優しいイメージで使われているが、完全防水加工をした紙バックやマルチパックは、リサイクルが難しくポリ袋より環境負荷が高いとの指摘もあった。新聞に付随した古紙整理袋・チラシ・夕刊なども、真剣に廃止を考えるとの声もある。

3Rの推進特に発生抑制の具体的な運動は、自由経済の原理や消費者のニーズ等を理由に阻まれて、なかなか進まないのが現実だ。リサイクル(再資源化)推進策も生産促進のための新たなゴミ捨て場になつては意味がない。

京都議定書では一九九〇年を基準として日本は、その六%CO<sub>2</sub>などの削減を義務付けられている。二〇一二年までにどのようにして京都議定書の目標値を達成するのか、環境を最大の武器として生きぬかなければならない我が国が、その達成をかけた世界に示すべき正念場の時が迫っている。(T・K)



三ツ矢産商株式会社 代表取締役 杉山正幸

# 古紙輸出の現状と未来

直言拝聴

## 中国向け古紙輸出船積前検査の電子システム化への対応

中国向け廃棄物原料の船積前検査が九月一日以降電子管理システムに移行することで、古紙の輸出商社はゴールデンウィーク前から現在に至るまでその対応に大変苦労している。新システムでは検査料金が極端に高く付いてしまうケースもあるため各商社は自主検査制度を取ること余儀なくされるが、この登録で問屋さんの検査員を重複して複数の商社に登録できない事が六月になって通達された。問屋と商社の両方とも混乱し、その対応に知恵を絞る日々が続いた。八月半ばに入っても新システムに対応する準備が不完全な会社が多く、九月一日出港分からの実施を前にして不安を抱えながら準備にいそしんでいる。自主検査員を各商社に登録している問屋さんには、コンテナ毎に写真を二枚ずつ撮ってそれを商社に電送するという手間を御願いすることになる。七月からの試行で一部手直しや簡素化もされているが、中国向けの古紙の輸出では商社、問屋共にこれまでよりかなりの手間と時間が必要になる。他の廃棄物原料も同じ手続きが要求されているが、特に古紙の場合は殆どがコンテナ積みで

その量がプラスチックや非鉄金属などと比べ圧倒的に多い。更に商社のマーキングが極めて薄く他の商品と比べ商品検査の料金を吸収できる余地が小さい事が、本件の対応に頭を痛める結果になっている。中国向けの輸出は減らして、できるだけ他の国向けに輸出したいと言うのが各商社及び問屋の本音だろう。

**中国の紙・板紙の生産と古紙輸入**  
しかしながら現実はそのも行かない。中国は昨年一七〇〇万トンの古紙を輸入した。前年比三十八パーセントの約四七〇万トンも増加した。二千年の三三八万トンから五年間で五倍と驚異的な伸びが続いている。昨年の古紙輸入量の四十三・九パーセント、七四七万トンがアメリカからで、二十六・九パーセント、四五七万トンがヨーロッパから、十八パーセント、三〇六万トンが日本からである。日本側の輸出統計で見れば、輸出総合計三七〇万トンの内、中国向けは三一〇万八千トンで約八十四パーセントを占めた。前年の中国向け輸出量は一九七万トンで全輸出量二八四万トンの内の六十九パーセントなので、量で一四万トン増えて、日本の古紙輸出量の中国向けの比率は一気に十五ポイントも増大した。その背景には中国に於ける極めて旺盛な製紙設備の新設がある。中国は二〇〇五年に紙・板紙を対前年比十三・一パーセント増の五六〇万トン生産し、同九パーセント増の五九三〇万トンを消費した。二〇〇二年以降十四パーセントから十五パーセント前後伸びていた消費は、ほぼGDPの伸びに近い数字まで落ちたが、生産量は高い伸びが続いている。

**中国の紙・板紙製造設備の新増設**  
古紙再生促進センターが昨年一月にまとめた「中国の紙リサイクルの概況」の中に中国の紙・板紙生産設備の拡大計画について調査した資料があるが、それに因れば二〇〇四年から二〇〇五年の計画は合計一三三万五千トン、二〇〇六年から二〇〇一年が合計一六二万トンとなっている。計画は全体的に遅れ気味だが、新規に発表されている計画もあり実際の数字はこれより大きくなると思われる。中国造紙協会は二〇二〇年までに紙・板紙の消費量は一億トン達するが生産量は九千万トンにとどまると予測している。新増設計画の中で最も多いのは段ボール原紙で、上記の計画の内約四十三パーセントの一〇七〇万トンを占めている。代表的な例はナインドラ

トも増大した。その背景には中国に於ける極めて旺盛な製紙設備の新設がある。中国は二〇〇五年に紙・板紙を対前年比十三・一パーセント増の五六〇万トン生産し、同九パーセント増の五九三〇万トンを消費した。二〇〇二年以降十四パーセントから十五パーセント前後伸びていた消費は、ほぼGDPの伸びに近い数字まで落ちたが、生産量は高い伸びが続いている。

ゴンとリーマンで、二〇〇六年から二〇〇七年の二年間で前者が二四五万トン、後者が二四八万トンの新設計画がある。洋紙もフアタイとチェンミンでそれぞれ四十万トンの大型のマシンが今年の初めと末に稼動する。いずれも新聞用紙とLWCの併抄マシンである。中国の新設マシンの多くが、極めて大型であるため生産設備が一気に増えることになる。当面は板紙マシンの新設が多いため、古紙の利用割合が高く消費量の伸びが大きくなる。また、段ボール原紙は輸出用の梱包として多く使われるので、古紙の回収率が上がりにくい状況になっている。古紙の輸入依存率を高めざるを得ない状況が当面続くと思える。

**中国の古紙輸入の現状と見通し**  
今年も中国の古紙輸入は順調に増えている。一月から六月合計で九八二万五千トンの古紙を輸入した。対前年比二十六パーセントの伸びで、年間合計では二千万トンを超える勢いである。アメリカからが四十四・三パーセント、ヨーロッパからが二十八・三パーセント、日本からが十六・一パーセントとこの三地域からの合計はほぼ変わらないが、僅かながらヨーロッパが増えて日本が減っている。

## 中国の製紙産業の課題と日本の古紙輸出のゆくえ

昨年の合計が一五四万トンだったイギリスからの輸入が半年で一〇一万トンに増えている。アメリカからの輸入も順調に伸びている。アメリカの古紙消費量は、製紙機械の廃棄により減っている。カナダとアメリカの製紙会社は、二〇〇四年から二〇〇六年にかけて永久的又は無期限に合計六五〇万トンのパルプ及び製紙機械をリストラの為に廃棄すると発表している。一方、シングルストリーム回収方式が増えている事が寄与して古紙の回収が増えている。二〇〇五年のアメリカの古紙回収量は四六五万トンで、回収率は五十一・五パーセントと伝えられる。回収率目標五十五パーセントを掲げており、更に輸出余力の拡大が期待できそうだ。ヨーロッパ(EU)の古紙回収率は二〇〇三年時点で五十七・三パーセントでまだ上昇する余地がある。現にイギリスは、家庭ごみの路傍混合回収(シングルストリーム)と機械選別の組み合わせを採用して古紙の回収量を増大させた。増えた分がそのまま中国向けの輸出増に繋がっている。しかし、これらのシングルストリーム回収方式により回収された古紙の品質悪化は、中国での輸入通関でたびたび問題になっている。

中国の製紙産業は急成長を遂げているが、多くの課題を抱えている。その第一が製紙原料の確保である。林紙一体化をめざし植林にも力を入れているが、その進展は極めて遅い。国内古紙の回収を増やすことを目指すが、当面は輸入に頼らざるを得ない。需要の増大は古紙価格の上昇圧力をもたらす。一方、過剰設備から製品市況が弱くなっている。原油や薬品等の高騰でコストの上昇に苦しんでいる中国の製紙メーカーは、輸入古紙価格の高騰を押さえる必要性に迫られている。大手の段ボール原紙メーカー等は在庫能力と市場支配力が大きく、これまでは価格コントロールに成功している。今後価格面はある一定のレベルまで上がる、調整で下げると言う事になるだろう。中国の製紙産業が抱えるもう一つの大きな課題は、資源の節約と環境保護問題である。特に用水とエネルギー効率を上げることが最重要課題だろう。中小零細企業の多い中国製紙産業は藁等の非木材繊維を主に原料としている工場が多く、排水が大きな河川や湖の汚染をもたらす生態環境の重大な破壊に繋がっている。非

## 中国の製紙産業の課題と日本の古紙輸出のゆくえ

中国の製紙産業は急成長を遂げているが、多くの課題を抱えている。その第一が製紙原料の確保である。林紙一体化をめざし植林にも力を入れているが、その進展は極めて遅い。国内古紙の回収を増やすことを目指すが、当面は輸入に頼らざるを得ない。需要の増大は古紙価格の上昇圧力をもたらす。一方、過剰設備から製品市況が弱くなっている。原油や薬品等の高騰でコストの上昇に苦しんでいる中国の製紙メーカーは、輸入古紙価格の高騰を押さえる必要性に迫られている。大手の段ボール原紙メーカー等は在庫能力と市場支配力が大きく、これまでは価格コントロールに成功している。今後価格面はある一定のレベルまで上がる、調整で下げると言う事になるだろう。中国の製紙産業が抱えるもう一つの大きな課題は、資源の節約と環境保護問題である。特に用水とエネルギー効率を上げることが最重要課題だろう。中小零細企業の多い中国製紙産業は藁等の非木材繊維を主に原料としている工場が多く、排水が大きな河川や湖の汚染をもたらす生態環境の重大な破壊に繋がっている。非

木材パルプ主体の工場や年産二万トン以下の工場は政府の指導で閉鎖に追い込まれている所が多い。今後は大手の増設が続く一方で中小の廃業や倒産で整理統合が進む事になる。資源と環境の問題は国内古紙の回収と利用の促進を進める事を要求する。紙・板紙の消費増に伴って古紙の回収率が現在の三十パーセント程度から四十数パーセントまで上がる事も十分考えられる。日本の古紙輸出は今年四百万トン程度に達すると予測される。中国向けの比率を少しでも減らしたいが、余り大きな変化は無さそうだ。しかし、将来に備えて少しでも中国以外の国向けの輸出を増やす努力を続ける事は重要だろう。経済の発展状況からインド向けの可能性を指摘されるが、海上運賃が高すぎて現時点では実現は極めて難しい。アメリカからインド向けの古紙輸出は増えているが、海上運賃がコンテナ当たり九五〇ドル程度に対し日本からは二千ドル以上、一トン当たり四十ドルから五十ドルも差がある。幸い、一時的に高くなったタイ向け等の海上運賃も下がって輸出がし易くなった。ベトナムも中国と比べると規模も小さく、スピードも遅いが製紙能力が徐々に増えている。

### こんなものいらないアンケート調査BEST20

(平成18年8月21日現在)

順位	項目	票数
第1位	レジ袋	72
第2位	食品用トレイ (特に色付き)	63
第3位	二重三重の食品包装材	61
第4位	弁当・刺身パック・寿司パック等に入っている飾り物・敷き物・調味料	43
第5位	自動販売機	40
第5位	洗濯洗剤の中のスプーン	40
第7位	クリーニング屋のハンガー	37
第8位	たばこ	29
第8位	新聞古紙入れ整理袋	29
第10位	ダイレクトメール	28
第11位	缶ビールを入れるマルチパック	26
第11位	新聞の折込や郵便ポストに投函されるチラシ	26
第11位	割箸	26
第14位	酒や清涼飲料などの紙パック	25
第15位	パソコンなどの分厚い説明書	23
第16位	電話帳	22
第16位	トイレットペーパーの芯	22
第18位	紙コップや紙皿類	21
第19位	ビニール傘	19
第19位	ペットボトル	19
第19位	11.4cmの幅のトイレットペーパー (日本以外の国のトイレットペーパーは10cmの幅の物が殆ど)	19
その他 (以下のような物がランキングされています。)		
野菜のビニール包装、贈答品などの包装紙、2千円札、ペットボトルに付いてくるストロー、プラスチックの卵パック、洋服の中にある台紙(Yシャツ・ボロシャツ等)、テレビのリモコン、テレビ、ティッシュペーパーの箱に付いているビニール、通販のカatalog、商品に付いている景品、化粧品のプラスチックの箱、携帯電話、靴を買った時の箱、純パルプのトイレットペーパー、雨の日の傘や新聞等を入れるビニール袋、100円ライター、乗用車、新聞の夕刊、食品添加物などその他多数		

#### 「こんなものいらない」ランキング調査への御協力のお願

当組合が、五月初めの「ヴィーナス通信(第三五号)」の発行時より開始しました「こんなものいらない」ランキング調査は、開始から三ヶ月半が経過した現在、市民の皆様より郵送や電話・FAX等で合計五八〇通程が集まっており、本日に御協力ありがとうございました。

本調査の現在までの集計結果は上記の表の通りであり、当組合ホームページでも随時発表しております。また、市民の皆様が上記のような物を挙げた理由としては、「マイバッグを持参すればよい」、「使わないため、ごみになるだけなので無駄」等が多数ありました。一方で、賞味期限等物以外の無効回答があった他、今回の調査に反対する意見も三〇通程来ております。

尚、集計に当たって苦労した事は分類方法で、どこまでくるかで順位が大きく違って来ます。なるべく、類似品は同グループに入れて分類していただきます(例・第四位の品)。今後とも市民の皆様から多数の回答を御待ちしておりますので、より一層の御協力の程宜しく御願ひ申し上げます。

### (社) 東京都リサイクル事業協会

#### 設立記念式典が開催される

社団法人東京都リサイクル事業協会が今年三月に発足した。これにともない、去る七月十一日、東京ドームホテル「天空の間」において設立記念大会が盛大に開催された。

東京都リサイクル事業協会はこれまで東京都リサイクル事業連合会(略称・R団連)が任意団体として活動していたが、これに東京都二十三区再生資源業者連絡協議会と多摩地域リサイクル事業団体連合会が加わり社団法人格を取得した。構成団体は広域団体が八団体、地域団体二十四団体、合計三十二団体で構成されている。

役員は次の通り、会長畑俊一(山室社長)、副会長、紺野武郎(東多摩再資源化事業協合理事長)、今井一夫(東京都壘容器協同組合理事長)、信太政光(渋谷区リサイクル事業協同組合理事長)、会計理事、新井英一(東京都資源回収事業協同組合理事長)、佐々木義晴(多摩市リサイクル協同組合理事長)、理事、江尻京子(恵泉女学園大学非常勤講師)、高柳晴夫(製紙原料アドバイザー)、竹腰里子(N

PO法人北区リサイクラー活動機構理事長) 富所富男(多摩市議会議員) 羽賀育子(拡大生産者責任とデポジット制度の実現をめざす全国ネットワーク代表) 中村正子(環境ジャーナリスト)、監事、鵜淵順一郎(北区リサイクラー事業協同組合理事長) 菅沢和志(東京硝子原料問屋協同組合理事長)。

設立記念大会は一部が記念講演、二部が記念祝賀会の二部構成で行われた。一部の記念講演は古紙ネットワーク代表で環境ジャーナリストの中村正子さんの司会、コーディネートで、安井潤一郎衆議院議員と小林光環境省地球環境局長との環境トークショウが『環境』は『身のまわり』、『まちづくり』は『身近所づきあい』のテーマで行われた。

はじめに小林光環境省環境局長が、「地球温暖化と京都議定書」二、「家で出来る温暖化対策」三、「都市の改造」四、「3R(リデュース・リユース・リサイクル)と温暖化対策」などの内容でトークがあった。

続いて安井潤一郎衆議院議員のトークで、売り場面積四十坪の食料品スーパーの社長であり早稲田商店会の会長である氏が、九六年に環境問題をテーマに開催した「エコサマー・フェスティバル」が大成功し、それから楽しくて儲かるまちづくり(環境を切り口にしたまちづくり)を実践し、ついに昨年、自民党比例代表で衆議院議員に初当選したことが絶妙なトークで語られた。

このあとの記念祝賀会は、安井潤一郎衆議院議員、中川雅治参議院議員、内田茂都議会議員、山崎孝明都議会議員、近藤やよい都議会議員、古賀俊昭都議会議員、小林光環境省地球環境局長、森浩志東京都環境局廃棄物対策部長をはじめ、二十三区、多摩地区各市の環境担当者、各リサイクル関連団体代表、市民団体代表、環境関係企業代表、報道関係などが招かれ盛大に開催された。

記念祝賀会は当東多摩再資源協の理事長であり東リ協会副会長の紺野武郎氏の開会の辞で始まり、畑俊一会長の「当協会の社会的使命は、都内の再生資源リサイクル事業の円滑化を図るため、再生資源等についての調査研究、普及、研修、指導等の事業を行い、循環型

社会の形成に努め、都民の福祉向上に寄与し、東京が世界トップクラスの循環型都市となるよう、業界全体が一丸となって努力してまいります。」との挨拶があった。

次いで、来賓の方々より協会への期待を込めた祝辞があり、続いて、近藤やよい都議会議員の乾杯の発声により懇親会にはいった。協会の理事・監事など役員を紹介、挨拶があり、津軽三味線のアトラクションで盛り上がる中、来賓百余名、東リ協会関係者二百五十余名の出席者は、情報交換や協会への期待などについて歓談して時を過ごした。

最後に、今井一夫副会長の閉会の辞により無事終了した。

(奥山慎吾)



記念式典で挨拶する畑俊一会長

# 紺野理事長・日資連会長に就任

生涯の天職として更なる勉勵を

去る五月十三日の日本再生资源事業協同組合連合会（日資連）第三十四回通常総会におきまして、第六代会長を拝命しました。微力ではありますが最善を尽くして任務を全うしたいと思ひます。組合員の皆様には、今までにも益して組合活動にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。想えば昭和四三年、脱サラして飛び込んだこの業界で、いつの間にか三八年の年月を重ねることになりました。

最初はまったく無知で生意気な若造に、多くの諸先輩方や組合員の皆様があたたかい手を差し伸べて指導して下さいました。さらに市民や行政の方々ともリサイクルの勉強をさせて頂きました。そして本事業の重要性を痛感し、業界に対する偏見や誤解を無くして、注目された環境ビジネスの新たな受け皿となる組織が出来ればと願ってきました。今このように全国連合会の代表



日資連・千葉大会にて

に推挙されようとは夢想だにしませんでしたが、その責任の重さを全身に受け止めて、生涯の天職として更なる勉勵を再認識したところです。

さてわが国も、長期のデフレ経済から徐々に変化の兆しが見え、原油にはじまり各種資源物の国際的な物流戦略の高波も押し寄せてきました。金属屑も古紙も活発な輸出事業を展開して国内市況にも強く影響しております。

特に鉄・非鉄金属類の価格高騰は、パブル期を上回って好況を続け、逆有償で処理していた廃プラスチックまでが有価で取引可能な品目となってきました。一方業界の主食である古紙や古繊維の市況はいまだに低迷し、十分な回収コストを賄えない状況が続いています。

このように業界を取り巻く環境は、取り扱う品目においても規模においても地域的にも大きな格差や問題が山積しており、各種リサイクル法の施行にも、従来からの資源回収活動の足かせとならない改正案の提言や調査研究を急ぐ必要があります。

日資連はこの三年余りで、内外の課題に迅速に対応して公共性の高い運営と、各地区の連携強化にもつながる組織改革に着手して参りました。

昨年度より進めている「再生资源回収事業者認定制度」と「リサイクル化証明書」の普及は、日資連の理念に基づき秩序ある業界体制を築き、再生资源回収事業者としての信頼性を確保し、業界の地位向上を確立すべくその拡大に努めています。

我々東多摩再資源化事業協同組合の組合員も全員、日資連の認定



会長就任の祝賀会で花束を手笑顔の紺野理事長夫妻

制度に合格し、地域リサイクル事業に貢献する基盤を強固なものにいたしました。そして今まで以上に市民や企業や行政の皆さまのリサイクル事業に貢献できますよう一層の努力をして参ります。今後とも更なるご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。の挨拶と致します。

【日資連の概要について】  
●日資連は全国の再生资源回収従事者等二万五千人で構成する団体組織で、昭和四八年七月十一日に設立されました。  
日資連の理念は、有用な再生资源を信頼出来る流通経路で適性に再資源化し、「持続可能な資源循環型社会形成」に貢献する事で、そのための提言や行動を示し、国や地方自治体に協力しています。

## 第十三回通常総会開催

去る五月十二日（金）東京都中小企業団体中央会の橋北隆様御出席の下、組合本部にて第十三回通常総会を開催した。まず、司会の紺野琢生青年部副部長の開会宣言の後、藤本理事兼務相談役の開会の辞、紺野理事長の挨拶を経て、水野勇理事を議長に選出し、議事の審議に入った。審議では平成十七年度事業報告・決算関係書類の件、平成十八年度活動方針・収支予算案がいずれも満場一致にて承認された。また、前役員の内期満了に伴い、役員改選が行われ、満場一致をもって次の通りに決定した。

### 【新役員】

理事長：紺野武郎、副理事長：総務委員長：萩原貞雄、副理事長：財務委員長：古川敏雄、副理事長：業務委員長：小畑和夫、専務理事：



第13回通常総会にて

## 第四回青年部総会開催

去る四月二十九日、第四回青年部総会が組合本部にて開催された。紺野副部長の司会進行で、土井部長の挨拶の後、新青年部員の水野敬一さん、福田雄二さんが挨拶を行った。

議長に指名された水野幹事の議事進行の下、二〇〇五年度活動報告・決算報告・監査報告及び二〇〇六年度活動方針・予算の件が満場一致を以って可決された。

本総会を以って、土井青年部長が退任され顧問に、新青年部長に藤野理広幹事が就任した。新部長



第4回青年部総会にて

挨拶の後、理事長挨拶があり、東資協青年部から岩窪さんより挨拶を頂いた。終了後、「たきび」にて懇親会が行われ、御参加いただいた理事との懇親を深めた。

### 【新青年部長挨拶】



青年部長・藤野理広

この度、東多摩再資源協青年部長という大役を務めさせていただくことになった藤野理広です。正直、大変なプレッシャーを感じ、臆しているくらいなのですが、一つ一つ自分の出来る事を見極め、部員たちの助けを借りながら青年部運営をしていきたいと思ひます。

部員たち全員が、やる気がある実行力があり、そしてアイデアがある我が青年部です。大げさな事を言うのではなく、

一歩一歩着実に地球環境保全という坂道を登って行きたいと思ひます。宜しくお願ひします。

### 【新青年部員挨拶】

①青年部・福田雄二  
十四年のサラリーマン生活を

卒業し、本年より組合及び青年部の活動に参加させていただいております。私が入部に前後しまして青年部も藤野新部長の下、新体制でのスタートを切っております。微力ではございますが新部長をバックアップしながら業界の勉強をさせて頂いただければと思っております。

青年部と申しましても私自身、他の部員の皆様よりも年長ということも有り、「青年」と呼ぶには苦しい年齢では有りますが、東多摩再資源協及び青年部の発展へ尽力してまいります。

最後になりますが、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。有難うございました。

②青年部・水野敬一  
二〇〇六年、東多摩再資源化事業協同組合青年部第四回通常総会より、青年部新役員のご承認を頂き、広報・IT担当させて頂いたことになりました水野と申します。日々変化を続ける情勢を、いち早く収集し、分かり易く発信していきます。また、組合活動を通じて皆さんと親交を深め、地域に根付いた活動をしていきたいと思っております。

古紙・衣類等の行政回収

市民の皆様の疑問にお答えします

当組合が市より回収を委託されている古紙、衣類がどのような方法で回収されているか市民の皆様にお知らせいたします。というのも、今日はまだ回収に来ないが忘れたのではないのか？段ボールだけ残していった、取りに来てほしい。きのう雑誌と一緒に大事なものを出してしまった、見つけてほしい。などの疑問にお答えし、市民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

回収時間が一定しないのはなぜ？

回収時間はその日の交通事情、天候、祝日、出された量などによって一定しません。例えば、雨の日や祝日などが回収日ですと出されている量が少ないので早く回収できます。いつもこの時間だろうと出してもすでに回収が終わってしまっていることがあります。出すときは指定された時間までに出すようにしてください。(朝8時までとか、8時半までとか、市によって異なります。)

逆に雨や祝日の次の回収日、年末年始など大量に出るときは回収時間が遅くなる場合があります。当組合は通常より多くの車両を出して対応していますが、それでも、いつもより回収時間は遅れます。

なぜ全部一緒に積まないの？

紙・衣類の回収は平ボディ車(普通のトラック)とパッカー車(燃えるごみなどを回収する車)で行われています。パッカー車には一種類の紙しか積みません。トラックに積む場合は何種類かを一緒に積むことがあります。荷台に載せるときには種類ごとにきちっと分けて積みませす。一つの集積所に出されている紙類から最初に新聞だけ、あるいは段ボールだけを回収し、後から他の紙や衣類を回収することもあります。回収地域の紙類(新聞や雑誌、段ボール)の出る量によって全部を積むか、別々に積むか違ってきます。例えば段ボールは2トンパッカー車に700kgしか積みません。2トンの平ボディ車ではそれ以下です。新聞、雑誌と違ってがさばるからです。効率よく回収するために、その地域の特性によって積み込み方が変わってきます。

回収車には市委託のステッカーが貼ってあります。

回収された後はどうなるの？

回収された紙、衣類は組合の6ヶ所の古紙問屋に降ろされます。パッカー車から降ろすときは荷を積んだまま計量し、ダンプカーのようにいっぺんに荷を降ろし、あらかじめ登録されている空車の重量を引いて目方を出します。平ボディ車に混載された荷は新聞、雑誌、段ボール、衣類と品種ごとに計量します。計量後は、ひもを切ったり、袋からあけて、ごみや再生できない紙を取り除きます。取り除く作業は機械ではなく人手で行います。再生できない物を除いたあとは新聞、雑誌、段ボールなど品種ごとにベルトコンベアでプレス機に運ばれます。どの品種も高さ1m、横1m、縦1.8mにプレスされ、番線(針金のような物)で結束します(機械でしぼる)。重さはおよそ1トンになります。これをトラックに積み製紙会社に運び、また紙に再生されます。

衣類はビニール袋のまま近隣の古繊維問屋に運び込まれます。そこで輸出用、ウエス、半毛(はんもう)用などに分けられます。

必要なものを間違っ出してしまうたら

新聞や雑誌、衣類と一緒に必要な書類、財布などなど間違っ出してしまうたら、一刻も早く市役所か当組合に連絡してください。見つかる場合もあります。ほとんど見つからないと思って下さい。回収された紙類は前述のように次々とプレスされてしまい、翌日には出荷します。衣類も翌日に出荷します。回収から時間がたつほど見つかりません。

小平市リサイクルセンター PETボトルベール品検査で高品質

七月二五日小平市リサイクルセンターのペットボトルベール品の品質検査が行われた。この検査は年一回、日本容器包装リサイクル協会の定める品質基準に基づいて行われる。検査は市関係者立会いで再処理業者が実施している。実施する場所は再処理工場であったり市リサイクルセンターであったりその年によって違う。今年小平市の再処理先の「さいたまペットボトルリサイクル株式会社」現地で行われた。当日は市から三名、組合から四名が立ち会った。

一ベール、一六八kg、四三六一本をビニールシートの上に広げ、会社の四名の検査員が一本一本検査を実施した。ペット以外の異物が混入していないか、キャップが付いていないか、中身が入っていないかなど十九項目のチェックが行われた。二時間ほどで終了し、検査結果が示された。Aランクの最上位品質であった。容リ協会の定める品質基準は現実にそぐわないような項目もあることも事実である。

回収から選別、再処理までの現場を体験してから基準を作成してもらいたいものだ。今回のペット再処理会社はペットボトル年間処理能力一万吨、製品ペットフレイク年間生産能力は七千五百トンである。

ペットボトルに付いているラベル剥離、キャップ除去は機械で自動的に取り除かれる。その後、金属探知装置を通り手選別で異物を取り除く。手作業後の工程はほとんど自動化されていた。ペット粉砕機で細かくされ、品質を高めるため水を張った浮沈タンク、脱水機、乾燥機等を経てペットフレイクに仕上がる。

このフレイクを製品として需要先に販売している。ペットフレイクは繊維メーカーに焼く半分、後半分はシート状になり卵パック、文具類、果物のトレイなど用途に応じて加工される。キャップは植木鉢、ゴミ箱、パレットなどの製品になる。

処理を待つペットボトルは東京はじめ関東各県から持込まれていた。回収に流すときはランクの高低を平均化する。作業の平均化を図るようにしている。社員、パート合わせて常時三十名、忙しい時期には四十名ほどで操業しているとのことだった。

コラム 今、健康の大切さを知る

一ヶ月間の闘病生活を振り返って

去年の大晦日の朝、突然、体調に異変を感じた。めまいがするのでカゼでも引いたのかなと思いい、二日ほど寝ていたが、一向に良くならない。そればかりか、何かするのもままならなくなり、救急車で近くの東京病院に行き検査を受けたところ脳梗塞の診断、直ぐに入院という事になったが、東京病院には脳外科はなく、武蔵村山市にある村山医療センターに入院することとなった。

そして寝ているだけということになった。幸いなこと後遺症は殆ど出ずに済み、一〇日過ぎる頃から病院内を歩けるようになった。先生が言うには原因は分からないが後遺症が出る人と、余り出ない人と別れるということだそうだと感謝、感謝。そして普通に生活ができるということの有難さがわかったと思います。とはいっても、ゲンキなもので体が元気になってくると、今まで大病などしたことのない私にとつて入院生活は非常に退屈なもので、特に夜の時間の長さには閉口し、二〇日過ぎるころには退院が待ちどほしいものとなった。入院してから丁度、一ヶ月で退院することができ、順調に回復し現在に至っています。

酒、タバコもやらず、ジョギングが好きで運動も週二、三度はやっていた私がどうしてという思いがしたが、村山医療センターでの検査でも小脳梗塞があると言われ、一〇日間は点滴とおかゆの食事、

「まさか小畑さんが入院だなんて」とか「もう走ったりしないほうがいいよ」何て言われましたが、退院してからは食生活に気をつけるようになり、今では少し走れるようになりました。お世話になった方に感謝し、そして健康に感謝してまた頑張りたいと思います。(副理事長・小畑和夫)

号数	発行年月日	川 柳	コメント
第16号	2000年6月30日	循環法 昔に戻れと 言うことか	首相も神の国発言してた
		安物買い あとの始末は 誰がする	そしてごみほど高い物はない
		リユースの 必要ない人 当選し	ノーコメント
		次は古布 受け皿が無く ボロの山	洋服売る人知らん顔
第17号	2000年10月16日	ダイオキシソ 地震に噴火 十七才	少年犯罪多発・オヤジも消えた
		あるのかなあ? あっせん利得の 無い献金	献金する余裕のない業界です
第19号	2001年4月10日	我がサイフ 循環社会に 見放され	発生抑制はしていないのにね
第21号	2001年11月15日	宝くじ 抽選日には 可燃ゴミ	雑紙に分別して下さい。
第24号	2002年9月20日	古紙の価値 百円ショップが 羨ましい	
		リサイクルの 後方支援は 不採扱?	
第25号	2003年1月28日	ごみ減量に 効く瘦せぐすり 見当たらず	
		リデュース(発生抑制)を 掲げて消費を 煽る国	不循環基本法だべ
第26号	2003年5月15日	ごみ有料 皮無しスイカは ないですか	
		お正月 どこが不況だ ごみの山	
第27号	2003年9月5日	神頼み 回収業者は 紙頼み	
		ごみ有料 古紙分別は 優良に	有料化して資源の品質が低下しないよう
第28号	2004年1月1日	排ガスを ペットにつめて "紋どころ"	知事のパフォーマンス
		我が愛車 排ガス規制で 廃車され	
第31号	2005年1月1日	リユースで 長く使えと 基本法	どっちが優先なの
		排ガスを 減らしたいなら ごみ減らせ	
第32号	2005年5月12日	びんが消え ペットが増えて 三R(?)	不循環基本法だべ
		中身より 十数倍する 回収費	ペットボトル等廃プラ類
第35号	2006年5月10日	紐かけて 袋に入れて ガムテープ	過保護な古新聞
		ビニールに 入ったままの 宅配誌	読んだ形跡全く無し
第3号	1997年1月15日	古紙の中に スリッパ・包丁 残飯も	お金以外入れないで。お願い!
		新聞の 収納袋 なぜ茶紙	新聞古紙に茶紙が混ざれば禁忌品。もう勘弁してよ朝日新聞さん
第4号	1997年4月15日	マニフェスト 選挙終われば ただの古紙	どうせ選挙民もみちやいない
		古紙輸出 木材はほとんど 外国のもの	
第5号	1997年7月29日	生ごみが 飽食日本で 自爆テロ	生ゴミ加工場の保存施設で爆発
		飽食が 学力を下げ ごみ増やし	日本人の学力低下。人間のごみも増加?
第6号	1997年10月31日	古紙抜き取り 循環社会を かき乱し	
		財政難 環境予算も 抜き取りか	手を抜くとリバウンドします
第7号	1998年1月10日	議定書は 個人個人が まず批准	
		古紙抜き取り 腰抜け問屋が 見え隠れ	
第8号	1998年5月15日	三R(リデュース・リユース・リサイクル) 乱造・浪費 炉で燃やせ!	産業界の本音
		PSE(電気用品安全法) リユースするな 買い換えろ	環境基本法骨抜き
第9号	1998年8月6日	環境に 国境は無し 待ったなし	

(一部修正あり)

今まで「ヴィーナス通信」に掲載された川柳をまとめてみました。リサイクルに限定した川柳ということなので、我々業界が苦悩する変遷が読み取れます。

ここ10年の地球環境、リサイクル意識の高まり、循環型社会基本法施行の中でリサイクルの実際の現場との隔たりを皮肉たっぷり辛らつに表現されています。今後も時流を滑稽に又強烈に風刺した句を掲載していきたいと思ひます。

ヴィーナス通信・リサイクル川柳シリーズ(特選集)

東多摩再資源化事業協同組合

号数	発行年月日	川 柳	コメント
第3号	1997年1月15日	駄目亭主 粗大ごみさえ 有料化	
第4号	1997年4月15日	また出勤 たまにやなりたい ワケ化ソ	路盤材になっていいの
第5号	1997年7月29日	古紙業者 ムツゴロウより 後回し	有明海で干上ったムツゴロウ救済策
第6号	1997年10月31日	古紙満杯 そんなに作るな 売るな紙	
第7号	1998年1月10日	粗大ごみ 生ごみ提げて ご出勤	粗大ゴミ 毎朝出しても 夜もどる
第8号	1998年5月15日	捨て放題 ごみだけでなく モラルまで	
第9号	1998年8月6日	大切と 気付いた頃には 資源尽き	
第10号	1998年11月15日	有害だ 焼くな埋めるな! まず買うな	後始末困難物は作るな買うな
第11号	1999年1月21日	株券が 資源ゴミ化の 百年目	北海道拓銀が破綻
第12号	1999年4月21日	雑誌古紙 頭を下げて 金つけて	ついに逆有償資源
第13号	1999年7月16日	温暖化 古紙業界は 冷凍化	
第14号	2000年1月1日	特捜と ハウスで再利用 段ボール	家宅捜査と段ボールハウス
第15号	2000年3月31日	不景気が ごみ減量の 特効薬	
第16号	2000年6月30日	蟻のよに 働いた先が 蟻地獄	集める程に豊作貧乏
第17号	2000年10月16日	ごみ減量 忘れて 消費刺激策	景気最優先
第18号	2001年4月10日	古雑誌 俺より先に 海外に	古紙輸出はじまる
第19号	2001年11月15日	古紙余剰! 防衛庁では 燃してます	やばい書類を焼却処分していた
第20号	2002年9月20日	火事眺め 与野党 消し方大議論	
第21号	2003年1月28日	新聞社 古紙垂れ流して 百十年	
第22号	2003年5月15日	古紙に鉄 一ケタ相場で 年を越し	
第23号	2003年9月5日	刊交消え 任屋に材屋 やたら増え	
第24号	2004年1月1日	初夢は お札になった 古紙の山	
第25号	2004年5月15日	ブーメラン 我が組合に ウンをつけ	トレットペーパー「アーマン」発売
第26号	2004年9月5日	鉄相場 冷えてしまって 打つ手なし	鉄は熱いうちに打て
第27号	2005年1月1日	低価格 雀に「もらい泣き」された	雀の涙にもならない
第28号	2005年5月12日	リサイクルに 新たな資源 使いすぎ	廃プラの回収・再生に
第29号	2005年9月5日	振興券 国がしかけた 無駄使い	
第30号	2006年1月1日	燃やさなきゃ クリも立たずに 済んだのに	柳泉園の廃プラ
第31号	2006年5月10日	余剰古紙 いつのまにやら 売れっ娘に	
第32号	2006年9月8日	売れっ娘の 古紙の価格は 据え置かれ	
第33号	2006年12月1日	古紙価格 どうなるんだろう デバして	やっと1円ついたのに
第34号	2007年3月1日	定年も リストラも無く 古紙集め	それで幸せ?不幸せ?
第35号	2007年6月1日	古紙価格 上がって良いやら 悪いやら:	先取りされて何も無し
第36号	2007年9月1日	容リ法 推進するほど 無駄使い	容器包装離サイクル法だ
第37号	2007年12月1日	各自自治体、義理でペットの エフォーム	回収に税金を沢山使って
第38号	2008年3月1日	リサイクル 知らない人が 法作り	循環型社会基本法が議員立法
第39号	2008年6月1日	見返りある 人にだけする プッチャ	当業界には来ない訳だ
第40号	2008年9月1日	生ごみは 地球に返せ 食べた人	飽食日本罰が当たるぞ

### 東村山市資源物抜き取り 禁止条例七月より施行

三月議会で可決された資源物抜き取り禁止条例が七月一日より実行に移された。

条例は「東村山市廃棄物の処理および再利用の促進に関する条例」の一部を改正した。

条例では排出された資源物の所有権は、市に帰属する事。市、および市が指定した事業者以外の者は、排出された資源物を収集し、又は運搬してはならない事が条文化された。

これにより、市指定以外の者が市民の輩出資源物をもって持ち去る事は窃盗に相当する事になり警察の取締まり対象となる。

市環境部ではリサイクル推進委員の方々に条例の一部を印刷した印刷物を配布し、資源物置き場に張ったり、排出資源物に添付するよう協力を依頼した。

古紙、布類収集の市指定事業者である当組合は収集車に指定業者のステッカーを装着しています。

排出資源物を抜き取っている車両を発見したら、直接声を掛けたり、しないで、車両番号を控えて、市環境部又は警察に連絡して下さい。

### 行事・行動

#### 【五月】

- 八日：東資協理事会
- ：小平R C 責任者会議
- 九日：段ボールR協議会
- 一日：定例理事会
- ：中央会総会
- 二日：第一三回通常総会
- 三日：日資連三四回総会
- 一日：東資協賀詞交換会
- 六日：(社)東リ協会・理事会
- 四日：古紙C業務委員会
- 五日：青年部会議
- 六日：東資協五六回総会

#### 【六月】

- 二日：日資連理事会
- 五日：(社)東リ協会・大会準備委
- 六日：小平R C 責任者会議
- ：青年部会議
- 八日：東資協理事会
- 九日：古紙流通環境情報交換会
- 一日：日資連全国大会(千葉)
- 二日：定例理事会
- 五日：古紙C理事会業務委員会
- 九日：

- 一日：クリンジャパンC理事会
- 二日：中央会・組織委員会
- ：青年部会議
- 六日：紺野日資連会長就任祝
- 八日：(社)東リ協会・大会準備委
- 九日：小平市廃棄物減量審

#### 【七月】

- 二日：近江昭氏受章祝賀会
- 五日：古紙循環プロジェクト
- 六日：(社)東リ協会・大会準備委
- 七日：東資協理事会
- 一日：3R推進委・理事会
- ：(社)東リ協会・設立大会
- 二日：小平市減量審・視察
- ：定例理事会
- 五日：小村大三市・市民学習会
- 八日：小平R C 責任者会議
- ：財務委員会
- 二〇日：(社)東リ協会・理事会
- 二二日：日資連理事会
- 二四日：3R活動推進フォーラム
- ：広報委員会
- 二五日：古紙C業務委員会
- ：小平市ペットボトル工場視察

- 二七日：青年部会議
- 二八日：3R活動推進フォーラム
- 二九日：閑資連・理事会
- 三〇日：組合家族慰安会

#### 【八月】

- 三日：広報委員会
- 八日：東資協理事会
- 一日：定例理事会
- 一八日：東京とことん討論会
- 二一日：(社)東リ協会・運営委員会
- 二三日：広報委員会
- 二四日：青年部会議
- 二九日：容リ法フォーラムゴ横浜

### リサイクル川柳

◎TOB(敵対的株式買付け)  
仕掛けるぐらい

原料の古紙は虐待的安値で買付けているのにー 儲けてた(?)

#### ◎資源物

目先の都合で みな輸出  
少資源国に長期的国策なしー  
(改修業者)

### 編集後記

今号に御寄稿いただきました杉山様、ありがとうございます。データをもとにした古紙輸出の現状と未来の説明、大変良くわかりました。

読者の皆様には、今回のアンケートに協力していただき大変ありがとうございます。

まだまだアンケートを集めたいと思いますので、友人、知人の皆様にぜひお話しをしていただき、ご協力をお願いいたします。

まだまだ暑い日が続いております。

読者の皆様にはお体にお気をつけて、仕事に3Rに精を出してください。

(吉浦高志)